

なかよく 令和7年度 5月号



かしこく

元気よく

令和7年5月30日 文責 黒木 幸博

昨年度寄付金をいただいた新城さんから
児童のみなさんへのメッセージが届きました

小学生時代は、好きなことに一生懸命うち込んでほしい。好きなことがない人は何でも興味をもって接してほしい。好奇心が一番大事ではないかと思う。そして、好きなこと、興味あることを続けること。長く続けることで大きな力を発揮できるようになる。

私（新城さん）は、4歳の頃、幸野溝横の畑で蝶をつかまえていたことが、大学時代の研究、生物を研究する仕事につながり、そして今の趣味（蝶の採集、標本づくり）になっている。

また、今回サトウキビを送った（5年生に配っています）のは、これを機に少しでも南の島々に興味をもってくれたら、という願いから。自然の甘さを感じてほしい。



紹介：寄付金で購入したテント、学習道具



児童の皆さん、新城さんの思いを受け取り、
がんばっていきましょうね。

ふるさとに学び、ふるさとを学ぶ

今年もふるさと学習に力を入れていきます。今月から始まった地域の方々との交流もその一環です。

交流で大切なことは WinWin の関係でなければならないということです。子供たちは地域の方からたくさんのことを学ぶことができます。しかし、それだけでは不十分です。学校には「地域を元気にする」役割があるからです。子供たちには「交流にいられた地域の方が『来てよかった』『楽しかった』『また来たい』と感じられる交流にしなければならない」と伝えています。



5月19日（月）
花いっぱい交流

老人会、社会福祉
協議会のみなさん
ありがとうございました。

三日月学校講師の岡村智晴さんから寄贈

春休みに旧湯山小学校
で行われた三日月学校。

絵画講師をされた岡村智晴さんから湯前小学校に作品の寄贈がありました。図書室に展示しています。岡村さんは、ライフワークとして「木漏れ日」「月の煌めき」を描き続けておられる若き日本画家です。



岡村さんのHPより

学校HPの紹介

学校で行われた行事等を紹介しています。過去の学校だよりも掲載しています。



職業講話「警察の仕事」

多良木警察署の江原署長から、5・6年生に「警察の仕事」について講話をしていただきました。



5/23 講話の様子

警察は「周り（地域）の人の役に立つ」「周り（地域）の人から『ありがとう』と感謝される」職業なのでやりがいがあると、話がありました。警察官になり「周りの人のため」に頑張りたいという夢（目標）があってもいいですね。

校長より

【今月の言葉】

あなたが、会社の中で
唯一、逃げないからだ

学研という教科書などをつくっている会社があります。その会社は15年ほど前、倒産寸前になったことがありました。しかし、今の社長（宮原氏）が就任してから経営はV字回復。現在も順調です。

宮原氏が社長に就任するとき、「なぜ私が社長に？」と尋ねると、前社長が今月の言葉のことを言われたそうです。

人生は、いつも順調、ということはありません。時々大きく困難な壁（問題）にぶつかります。ぶつかったとき、乗り越えよう（解決しよう）と立ち向かうのか、あきらめて投げ出すのか（引き返すのか）・・・対応次第でその後の人生が変わります。

わたしたちはなぜ学ぶのでしょうか？

それは、大きく困難な壁（問題）にぶつかったときに立ち向かう力（対応力）をつけるためです。

たくさんのことを学び、人生を切り拓く力を高めていきましょう！